

【三大学病院合同】総合診療 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

本コースは後期臨床研修においてプライマリ・ケアを学習・実践し、「内科認定医」に加え、「総合内科専門医」（日本内科学会）、「家庭医療専門医」並びに「病院総合診療医（日本プライマリ・ケア連合学会で近日決定）」を修得することを目標としている。このため大学病院、関連教育病院以外にも診療所研修などをプログラムに取り入れ、いわゆる総合内科的診断・治療だけでなく、**Common problem** に対してきちんと対応できる基本的臨床能力の育成、さらには患者の家庭的・社会的背景を考慮した生活指導、予防までできるよう配慮している。

2. 研修目標

【一般目標】

「病院総合診療コース」

総合診療（主として内科を中心とする疾患・問題を持つ患者への医療）の領域について、外来診療に加えて、入院診療が単独でできることを目標とする。内科認定医ならびに総合内科専門医受験資格を満たす症例を、数多く経験する。

「家庭医療専門医コース」

一般内科、老年医療、小児、女性医療、軽度外傷、精神疾患、皮膚の問題など頻度の高い問題に対し、確実な対応ができる。さらに患者の心理的・社会的背景に配慮した治療（認知行動科学）が提供できる。また地域における保健・介護などの福祉サービスに精通し、予防やケアの提供ができることを目標とする。通常、家庭医療専門医受験資格を満たす症例を経験することには困ることはない。

これらのコースに明確な区分はないが、総合内科専門医、家庭医療専門医、病院総合医の獲得は、将来の中核病院・診療所勤務、大学での臨床研究など、多様なキャリアパスに十分対応できると考えている。

【行動目標】

3 大学共通

- ・原則として、各大学の診療科に所属（入局）した形をとる。
- ・募集定員は3大学合わせて6名／年程度とする。
- ・給与は基本的には研修所属施設から支給されるが、研修費用等に関しては、GP 予算から補填されることもある。
- ・3大学病院及びその関連病院をローテーションする。各人の希望により、所属大学以外の大学病院およびその関連施設での研修も可能とする。
- ・各県及び各県内各地域の状況に合わせた、特徴ある研修を行う。
- ・大学⇔総合病院（総合）内科/救急⇔地域中核病院⇔僻地病院・診療所のローテーションも考慮する。
- ・3県にわたり研修／診療サポート体制の構築（学習／連絡／情報提供支援システムの導入）を行う。
- ・能動的研修が行えるように、指導について「Precepting System」を導入し、指導医・上級医・研修医によるチーム指導を実施する。

- ・指導医、上級医は外来診療・カンファランス等で1例ずつ丁寧にフィードバックを行う。
- ・指導医は、研修医の体調や心理、個人的背景に配慮した、きめ細やかな指導を行う。
- ・将来的に専門医療や、基礎・臨床研究など学術研究に興味をもった時には、専門科研修や、大学院進学、国内／海外留学など、希望する進路を選択可能である。

熊本大学

- ・都市型の入院診療、地域型の外来診療、初期救急対応、内科中心+境界領域、等の能力の修得を目指す。
- ・地域中核病院一僻地病院の内科を中心とした（初期救急にも対応可能な）総合的診療能力を持った医師の養成を行い、研修終了後、地域で診療を行うことを目指す。一部、地域医療専門修練プログラムと共同で実施する。
- ・研修期間中も、実務として地域医療に貢献する。

大分大学

- ・大学病院の中にあつて頭痛や胸痛、腹痛、発熱、動悸、息苦しさなどの **Common problem** に対応している。他方、不明熱や原発不明癌、めまい、しびれなど一般診療所・病院で診断がつかなかった患者の二次診断にもあたっている。これらは主に膠原病、炎症性腸疾患、骨盤内腫瘍、軽症うつ病などの診断がなされている。（現在2名が家庭医療専門医の修得を目指している。）
- ・入院病床を持っており、感染性心内膜炎や敗血症、成人スチル病など重症患者も受け入れ、症候診断や呼吸・循環系など全身管理などの研修・実践も行っている。
- ・プライマリ・ケアに有用な、上部消化管内視鏡検査や腹部エコー検査などを自分たちで施行しており、十分に経験を積むことができる。（2名が消化器専門医を修得している。）

宮崎大学

- ・宮崎大学医学部附属病院においては、当科専門領域の消化器・血液疾患のみならず、膠原病感染症内科及び癌診療部と診療・入院病床を同一にしており、一般診療所・病院では診断がつかなかった不明熱や原発不明癌などの患者さんの診断・治療にあたっている。
- ・プライマリ・ケアに必要である上部消化管内視鏡、腹部エコーは毎日、下部消化管内視鏡や気管支鏡検査も専門医の指導の下、毎週施行しており、十分な経験を積むことが可能である。なお、消化器・血液や膠原病・感染症・呼吸器の学会認定も受けており、指導体制も確立しており、これら専門医修得も可能である。
- ・「総合内科専門医」、「家庭医療専門医」、「病院総合医」等の専門医を修得することを目標とするものには、これらの専門医修得可能な熊本大学・大分大学の総合診療科及びその関連施設での長期研修も可能である。

3. 研修スケジュール(凡例)

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
専門医修得コース1	大学病院		関連施設		大学病院		関連施設	
臨床系大学院コース1	大学病院		関連施設		大学院 (留学)			
基礎系大学院コース1	大学病院		大学院				関連施設	
指導者コース	大学病院	関連施設	大学病院			大学院 (留学)		
専門医修得コース2	大学病院	関連施設		大学病院		関連施設		
基礎系大学院コース2	大学病院	大学院				関連施設		
臨床系大学院コース2	大学病院	関連施設	大学院				関連施設	
専門医修得コース3	大学病院	関連施設	大学病院		関連施設			
中途Uターンコース※	他大学等の研修コース				大学病院	関連施設		

↑内科認定医

↑総合内科認定医

↑家庭医療専門医

↑病院総合医 (仮称)

3年目～凡そ10年目について、記載した。各人の希望で、臓器別専門医の修得も可能である。

※ 専門医修得は各人の研修経歴による

カンファレンス等の催し物について

1) 合同カンファレンス

3大学合同で、適宜、開催している。眼底鏡・耳鏡や心臓・腹部超音波検査などのシミュレーショントレーニングプログラムを中心に行っている。

2) 臨床推論セミナー

毎年一回、3大学持ち回りで開催している。平成22年度は大分県湯布院町で開催し、一泊二日の臨床推論セミナーに30名の参加があった。

4. 評価

プログラム管理者はコース選択者に対して、進路の希望調査や、進路の選定調整、および評価を、年一回実施する。また最終的な評価には、認定医、専門医資格の習得も考慮する。内科認定医は、本プログラム研修中に修得する。加えて、総合内科専門医、家庭医療専門医の修得を目標とする。

5. 募集人員

3 大学合わせて 6 名／年程度とする

6. 実施責任者

熊本大学医学部附属病院 総合診療部/救急外来 谷口 純一

大分大学医学部附属病院 総合診療部 藤岡 利生

宮崎大学医学部附属病院 第二内科（内科学講座消化器血液病分野） 下田 和哉

7. 指導責任者

熊本大学医学部附属病院 総合診療部/救急外来 谷口 純一

大分大学医学部附属病院 地域医療学センター 阿部 航

宮崎大学医学部附属病院 第二内科（内科学講座消化器血液病分野） 安倍 弘生

8. 関連施設、学会認定状況

熊本

熊本大学医学部附属病院：日本内科学会認定医制度教育病院

熊本赤十字病院：日本内科学会認定医制度教育病院、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設

独立行政法人国立病院機構熊本医療センター：日本内科学会認定医制度教育病院、

日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設

沖縄県立中部病院：日本内科学会認定医制度教育病院、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設

福岡徳洲会病院：日本内科学会認定医制度教育病院、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設

大分

大分大学医学部附属病院：日本内科学会認定医制度教育病院、日本家庭医療学会認定プログラム施設

厚生連鶴見病院総合内科：日本家庭医療学会認定プログラム施設

大分アルメイダ病院：日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設

宮崎

宮崎大学医学部附属病院：日本内科学会認定医制度教育病院

宮崎県立宮崎病院：日本内科学会認定医制度教育病院

宮崎県立延岡病院：日本内科学会認定医制度教育病院

宮崎県立日南病院：日本内科学会認定医制度教育関連施設

古賀総合病院：日本内科学会認定医制度教育関連施設

9. 連絡先

熊本大学医学部附属病院 総合診療部/救急外来 谷口 純一

大分大学医学部附属病院 地域医療学センター 阿部 航

宮崎大学医学部附属病院 第二内科（内科学講座消化器血液病分野） 安倍 弘生